

まちのわだい

さけの受精体験授業

厚内小・上浦幌中央小交流授業

10月24日、厚内小学校(吉藤清孝校長)でさけの受精体験授業が行われました。今年で4回目となる同授業に、今年は上浦幌中央小学校(森雅仁校長)の児童も参加されました。

十勝釧路管内さけます増殖事業協会の職員を講師に招き、サケの一生についての講義を受けた後、実際にさけの腹を開き、採卵して受精させる作業を体験。普段、生きたサケに触れる機会が少ない上浦幌中央小の児童は、サケが暴れるたびに驚いていましたが、徐々に慣れ、おぼつかない手つきでしたが、真剣に受精作業に取り組んでいました。

体験した児童たちは「難しかったけど、楽しかった」「サケがいっぱい育つように海をきれいにしたい」と話していました。



受精作業を体験する上浦幌中央小の児童たち。

瑞宝双光章を受章

元助役、高澤昭一さん

元助役の高澤昭一さんが瑞宝双光章の発令を受け、11月5日、札幌市内のホテルで北海道知事(副知事代理)から勲記と勲章の伝達が行われました。

高澤さんは、町の臨時職員を経て昭和23年から職員となり、管財課長、企画課長、総務課長を経て、昭和58年から平成3年まで2期8年間助役を務められ、卓越した識見と積極的な行動力をもって町政の進展にあたり、助役退任後の平成3年から平成11年までは代表監査委員を務められ、町の財務に関する事務執行および経営に係る事務管理についての監査執行にあたり、住民福祉の向上、地方自治の発展に貢献した功績が認められての受章となりました。受章にあたり、水澤町長から記念品が手渡されました。



瑞宝双光章を受章された高澤さん。

国 国保事業の推進に貢献 保連合会表彰受賞

的場賢次さんは平成9年5月29日から浦幌町国民健康保険運営協議会委員として、また、平成15年5月から同協議会会長として15年以上の永きにわたり、国民健康保険事業の健全な運営を確保するため、事業の推進向上に尽力された功績が認められ、北海道国民健康保険団体連合会表彰を受賞。10月25日、札幌市内にある北海道国保会館において表彰されました。



表彰を受けた的場さん。

秋 うらぼろ収穫祭 の味覚が満載!

10月6日、うらぼろ収穫祭(町観光協会主催)が道の駅うらぼろ特設会場で開催されました。

地元で採れた新鮮な野菜や秋鮭、大判焼きなども販売され、道の駅利用客や町民らで賑わいました。

また、会場ではかぼちゃ割大会や景品が当たるくじ引きなどのミニイベントが開催されたほか、サンマルコ食品浦幌工場提供のコロッケの試食やプレゼントもあり、長蛇の列ができていました。



かぼちゃ割り大会など、ミニイベントで楽しむ来場者。

町 熱いレースを展開 民駅伝競走大会

10月21日、第31回浦幌町民駅伝競走大会(浦幌町陸友会主催:鳴海孝次会長)が開催され、町内の小中学校やスポーツ少年団など19チームがエントリーし、熱いレースが展開されました。

強風の中、懸命に走るランナーたちに、沿道から大きな声援が贈られていました。

小学生の部は「サッカー6チーム(浦幌)」、中学生の部は「浦幌中学校陸上部Bチーム」が優勝しました。



最後まで力の限り走り抜きました!